

日帰り入浴施設

雲仙温泉街には多くの公衆浴場があり、何世紀にもわたって地元の人々に楽しまれてきた。地域社会の浴場は日本文化において愛されており、町によっては地域の浴場は地元民のみが利用していることもざらにある。そこには広々とした浴槽と一種のコミュニティが存在する。

銭湯は標準的な公共浴場の呼び名で、観光地としてはあまり見られず、主に日常的な利用を目的としている。温泉は特に天然の温泉水を使った浴場のことを指す言葉だ。温泉はしばしばホテルに付属しており、豪華な浴槽もある。

雲仙では公共浴場も温泉であるという点が珍しい。それらは訪問者が天然の、ミネラル豊富な温泉水をほんの数百円で楽しめる単純な施設である。浴場はコミュニティ団体が運営しており、それぞれに特徴がある。すべての浴場は男湯と女湯に別れている。